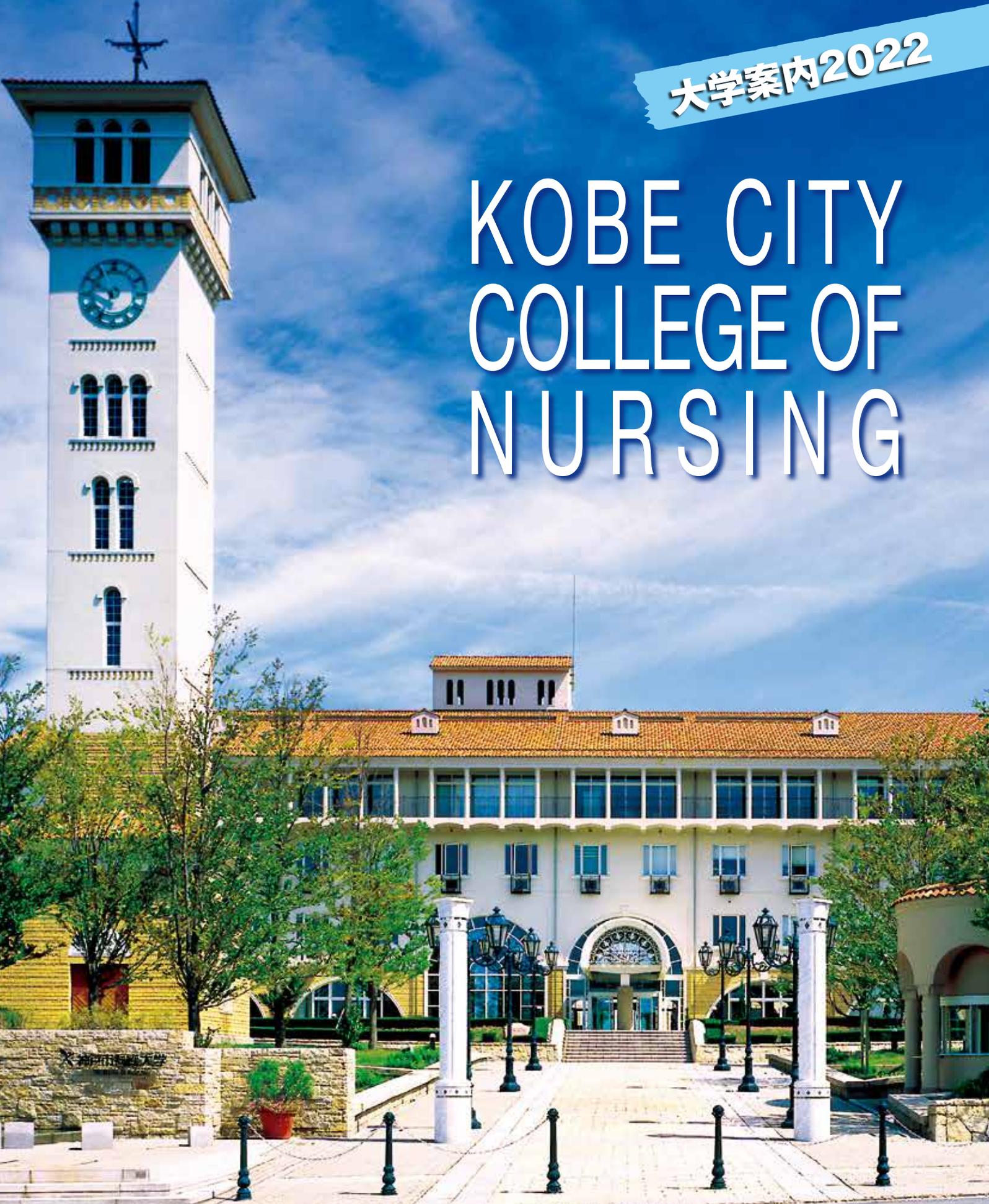


大学案内2022

KOBE CITY COLLEGE OF NURSING



公立大学法人

神戸市看護大学

神戸市看護大学の沿革

- 1959年 神戸市立高等看護学院開設
- 1981年 神戸市立看護短期大学開学
- 1996年 神戸市看護大学開学
神戸市立看護短期大学を
神戸市看護大学短期大学部と改称
- 2000年 大学院看護学研究科博士前期課程設置
- 2005年 助産学専攻科設置
- 2006年 大学院看護学研究科博士後期課程設置
- 2007年 神戸市看護大学短期大学部閉学
- 2016年 助産学専攻科廃止
- 2016年 大学院博士前期課程助産学実践コース開設
- 2017年 マネジメント実践コース開設
- 2019年 公立大学法人に移行

C O N T E N T S

沿革

ごあいさつ	1
教育理念、教育目標、大学院の紹介	2
アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー	3
カリキュラム紹介	4
キャンパスカレンダー	6
看護と向きあえる環境	8
授業紹介	12
クラブ・サークル紹介	16
キャンパス紹介	18
地域連携	20
国際交流	22
学生支援	24
卒業生からのメッセージ	26
卒業生の進路状況	28
入試情報	29



ごあいさつ



公立大学法人
神戸市看護大学 理事長

北 徹

神戸市看護大学は、阪神・淡路大震災の翌年の1996年4月、神戸市民がまだ仮設住宅での生活を余儀なくされる中、地域の保健・医療・福祉に貢献できる看護専門職者の育成を使命として開学し、優秀で実践力のある看護人材を地域に輩出してきました。2019年4月からは、公立大学法人として新たなスタートを切りました。

我が国は、急速な少子高齢社会が世界に類を見ないスピードで進み、総人口は2040年には1億人ぐらいに減少し、高齢化率は35%になると予想されています。時代の変遷とともに、疾病構造が変わっていく中、病気を治す時代から、治し支える時代になってきています。認知症を含めた高齢者特有の病態への対応がますます重要視されています。

また、2020年初から思いもよらぬ新型コロナウイルス感染症の世界的流行が続いており、人類は、その対応に追われています。これからも起こるであろう新たな災害への備えの在り方など、我々に課せられた重要な問題です。

このような社会の変動・変化の中、医療の現場において、看護職には高い専門性・国際性ととも、豊かな教養に裏付けられた人間性が求められています。さらに、病院や施設、在宅、行政など多様な職場において、地域の人々の健康と生活を、保健・医療・福祉従事者など多職種とともに支えることができるプロフェッショナルとしての役割と力量が求められています。本学は、公立大学法人として、神戸市とも十分連携・協力し、また単科大学だけに、周辺の大学と密なる連携を取り合いながら、理事長として大学の進むべき方向や経営方針を明確に示して開かれた、質の高い、スピード感ある運営を進めていきたいと考えています。

地域の人々のニーズにこたえることができる看護に携わる者としての心構え、そして必要な知識や技術をしっかりと教育し、この様な状況に対応できる人材の育成を図るとともに、さらに、このような背景下における神戸市の解決すべき諸課題を研究し、その成果を還元してまいりたいと考えています。

大学の使命は、教育、研究、その成果を活かした社会貢献であると考えており、人材育成と研究を通じた知的創造活動の中核として地域の未来、地域の医療を支えるという重要な役割を果たすことが求められています。

大学が市民の皆さんに親しまれ、社会や地域の役に立つ未来志向の大学としてさらなる発展に努めてまいります。

ごあいさつ



神戸市看護大学学長

南 裕子

神戸市看護大学は、1995年の阪神淡路大震災の翌年に開設された大学で、地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる看護専門職の育成を使命としています。神戸市は、新型コロナウイルス感染症第1波から第4波まで厳しい状況下におかれましたが、本学は本学の使命を体現すべく、刻々と変化する状況を見ながら素早く遠隔授業と対面授業の切り替えを行ってまいりましたし、シミュレーション演習を生かして隣地実習を補うことにも果敢に挑戦してきました。

また、フローレンス・ナイチンゲールの「看護は感染を恐れない。私たちは防御の仕方を知っているから」の言のように本学の教員は、専門性を生かして市民の感染拡大対策のために、保健所や軽症者療養施設、病院等への支援に積極的に行ってまいりました。この困難な時代だからこそ経験し、学ぶことができると信じ、新たな「地元創成看護学」を具現化すべく、教育・研究・社会連携活動を展開しています。

今年4月には「いちかん（本学の愛称）ダイバーシティ看護開発センター」を立ちあげました。このセンターは、地元の人々とともに、地元の課題について全学的な協力のもと新たな道を開発しようとしています。コロナ禍で学んだICTを使ってさまざまな「オンライン看護相談」を市民に向けて開設しましたし、専門職の生涯教育のためのプログラムを提供しています。これはまた、国連の目指す「持続可能な開発目標」の実現と呼応するものです。まさに「ローカルに活動し、グローバルに発信する」ことでもあります。

本学創設のころに経験した大震災からの復旧・復興の過程で培った実践力、そしてコロナ禍で高めた新たなアプローチなど、「いちかん」ならではの学びができることです。未来を見つめながらあなたの歩みをここから始めませんか。

教育理念

本学は、地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる看護専門職の育成を使命としています。この使命を果たすために、次のような理念に基づいて教育を行っています。

まず、広い視野と豊かな教養に基づいて、人間を全体として捉える力を育てます。これにより、看護の実践に不可欠な人間の存在や経験の意味を洞察する創造的想像力が形作られると考えています。

第二に、学生と教職員との日常的な関わりのなかで、学生のいっそうの人格形成を促すとともに、他者との関わりの深化を支援します。これは、自己への信頼に基づいて、能動的に他者との関係を築くことができ、さまざまな場面でつねによりよい行動を取ろうとする倫理的態度が培われることにつながることでしょう。

第三に、看護学の目的である実践への志向性を育み、看護実践に必要な知識や技術とともに、それを支える分析的かつ総合的思考を育成します。これによって、知識や技術を目的にあわせて再構成する力が備わり、創造的想像力や他者と関わる力と相まって、看護実践能力が形成されると考えます。

最後に、先見性をもって地域社会の健康問題をとらえ、主体的に取り組む姿勢を育みます。変化する社会の要請に応じて、多職種と連携しながら、つねに良質なケアと新しい看護システムを探索しようとする志向性へと発展することを期待しています。



教育目標

看護学部は、看護専門職としての自覚と責任に基づき、多様な対象者の個別性に対応できる実践能力を開発することを目標とします。

そのために、次の基礎的な能力や態度を涵養します。広い視野と豊かな教養にもとづいて、看護の対象となる人間を全体としてとらえ、人間の存在や経験の意味を洞察することができる能力を育成します。また、生命の尊厳と人権の尊重に基づく倫理観を培い、看護者として、保健・医療・福祉の現場で生じる倫理上の諸問題に積極的に取り組む姿勢を養います。そして、自己への信頼に基づいて、他者との関係を築く力を育成します。

この基盤の上に、保健・医療・福祉従事者など様々な専門職者との積極的連携・協働を可能にする積極性と協調性を育成します。また、地域社会への関心を深め、とくに健康問題に関するニーズを把握し、積極的に地域活動に参加する態度を育成します。それとともに、文化的背景を異にする人々とのコミュニケーション能力を培い、国際的視野に立つて看護の課題に取り組む態度と行動力を育成します。

大学院看護学研究科の紹介

博士前期課程

学 位：修士(看護学)

修業年限：2年

入学定員：28名

(助産学実践コース8名含む)

博士後期課程

学 位：博士(看護学)

修業年限：3年

入学定員：3名

神戸市看護大学大学院看護学研究科博士前期課程は2000年4月に開設され、基盤看護学領域と実践看護学領域の2領域13専攻分野のもと、4つのコース(研究コース、CNSコース、助産学実践コース、マネジメント実践コース)を設置しています。また、2006年4月には看護学研究科博士後期課程が開設され、看護基盤開発学領域と看護実践開発学領域の2領域を設置しています。

アドミッションポリシー

看護学部では、次のような人を求めています。

1. (看護への志向性) 看護をはじめとして保健・医療・福祉分野に広く関心のある人
2. (人間を尊重する姿勢) 他者の尊厳と権利を重んじる姿勢を備えた人
3. (人と関わる力) 他者に関心を持ち、主体的に関わろうとする意欲を備えた人
4. (柔軟な発想と行動力) 柔軟な発想をもって新たな知識を探求し、問題を解決する意欲と行動力を備えた人
5. (基礎学力) 看護学を学ぶために必要な基礎学力を備えた人

カリキュラムポリシー

看護学部では、次の方針で教育を行います。

1. 4年間の学士課程を通して、人間の営みに関係する文化、社会、自然、言語の科目、人間の健康生活に関係する生体の基礎、健康と生活、健康の変調と医療の科目を履修することにより、看護学の基盤となる様々な学問領域における知識と教養を身につける。また、専門教育では、看護実践に必要な知識と基本的技術を身につける。
2. 看護学科目にシミュレーション教育、実習指導者等による講義や事例を用いた授業を導入することを通して、看護の現象を多角的に捉え、思考の広がりや育成すると共に、分析、統合する思考を育成する。
3. グループワークによる演習を含む科目や実習科目を履修することにより、他者と関わる力や協調性、倫理的態度、リーダーシップを養う。
4. 看護統合科目・総合科目では、与えられた課題を十分に探究・考察し、その結果を的確かつ論理的に構成・発信する能力を育てる。
5. 地域住民に模擬患者や生活体験の語り手等として協力していただく「コラボ教育」を導入することにより、地域住民の生活や健康問題に関するニーズを捉える力、主体的に地域活動に参加する姿勢を育てる。
6. 複数の語学科目を配置し、国際的視野に立った医療や看護を学ぶことにより、異なった文化や価値観を理解する姿勢を育てる。

ディプロマポリシー

看護学部では、以下の態度や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

1. 人間を全体として捉えることができ、人間の存在や経験の意味を洞察することができる。
2. 生命の尊厳と人権を尊重し、常によりよい行動を取ろうとする倫理的態度を身につけている。
3. 他者と関わる力を有し、能動的に他者との関係を築くことができる。
4. 分析的かつ統合的な思考により、看護を受ける人に個性のある看護を実践することができる。
5. リーダーシップの基礎を理解し、保健医療福祉従事者など多職種と連携・協働する積極性と協調性を身につけている。
6. 地域住民の健康問題に関するニーズを捉え、主体的に地域活動に参加する姿勢を身につけている。
7. 異なる文化や様々な価値観を理解し尊重する態度を身につけている。
8. 社会の動向を把握し、ケアの質の向上とよりよい看護提供システムを探究しようとする姿勢を身につけている。

2013年より大学院の重点化にともなう改革として、大学院カリキュラムの充実に取り組んできました。カリキュラムの充実の一環として看護教育学関連科目や英語プレゼンテーションを配置しました。博士前期課程の7専攻分野が、看護実践能力の強化とケアとキュアの統合を目指してカリキュラム内容を充実させ、38単位の専門看護師教育課程の教育を行っています。さらに、2016年度から、博士前期課程助産学実践コースで助産師教育を行っています。また、2017年度からマネジメント実践コースを開設しています。

これまで285名の博士前期課程修了生と19名の博士後期課程修了生を輩出しており、修了生らは、全国各地の看護系大学教員、看護管理者、行政官、専門看護師、訪問看護師等として、さまざまな分野で活躍しています。

カリキュラム紹介

看護実践能力のある専門職を育成するために、教養科目と専門科目の融合をはかり、段階的な看護学実習を進めることができるカリキュラムを編成しています。

学年	1年		2年	
学期	前期	後期	前期	後期
看護学の基盤となる科目Ⅰ	哲学 生活文化史 神戸学 感性・身体表現 心理学 社会学 経済学 コミュニケーション論 国際社会の動向 情報科学 化学 生命科学 行動生態学 看護に生かす物理学 コミュニケーション英語IA ナース英語A フランス語A ドイツ語A 中国語A コリア語A	倫理学 言語学 宗教学 ヒューマニズム思想史 発達心理学 文化人類学 教育学 法学 コミュニケーション英語IB ナース英語B フランス語B ドイツ語B 中国語B コリア語B	コミュニケーション英語IIA 医療英語	情報処理演習 コミュニケーション英語IIB 英語文献講読
看護学の基盤となる科目Ⅱ	人体構造論 人体機能論 生化学 微生物学	人体構造論 人体機能論 免疫学 ヘルスプロモーション論 栄養学 健康・体力・スポーツ演習 薬理学I 社会福祉学	公衆衛生学 看護病態学I 看護病態学II 臨床遺伝学	保健統計学 生活と環境 薬理学II 心の病気 臨床医学I 臨床死生学 保健医療福祉行政論 医療と法 障害学
看護学科目	看護学原論A 看護技術入門 基礎看護学実習Ⅰ	看護学原論B フィジカルアセスメント 看護過程 多職種連携Ⅰ 女性のライフコース 支援概論	基礎看護技術演習Ⅰ 女性のライフコース 支援論Ⅰ 小児健康生活支援論 急性期看護論 慢性病看護学概論 老年健康生活支援論 精神健康生活支援論 地域看護学概論	基礎看護技術演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 女性のライフコース 支援論Ⅱ 小児療養生活支援論 周手術期看護論 慢性病療養生活支援論 老化と老年病 在宅看護概論 地域看護支援論 看護管理学Ⅰ 健康生活支援学実習 国際看護論 多職種連携Ⅱ
総合科目	スタートアップセミナー			海外看護学研修
				ボランティア活動

※2022年度より新カリキュラムとなります

3年		4年	
前期	後期	前期	後期
疫学 保健統計処理 臨床医学II 統合医療論 医療・看護制度論		実践疫学演習 健康行動論 医療人類学	健康とビジネス 文化と国境を越えた 健康支援
女性と女性の健康 小児看護援助論 クリティカルケア論 がん看護と緩和ケア リハビリテーション看護論 老年療養生活支援論 精神療養生活支援論 在宅看護論 公衆衛生看護活動論Ⅰ 公衆衛生看護技術論 健康学習論 産業保健活動論 看護教育学概論 家族看護学概論 災害看護論Ⅰ 感染看護論	ウィメンズヘルス看護学実習		
	在宅看護学実習		
	小児看護学実習		
	周手術期看護学実習		
	クリティカルケア看護学実習		
	慢性病看護学実習		
	老年看護学実習		
	精神看護学実習		
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(**)		
		公衆衛生看護学実習Ⅱ(**)	
	学校保健活動論 地域看護診断論 医療・看護政策論 家族看護支援論 災害看護論Ⅱ	看護倫理 公衆衛生看護活動論Ⅱ 看護管理学Ⅱ 看護生涯学習論 生と死のケア論	
	総合実習		
看護管理学実習(*)		看護学ゼミナール	
看護研究方法論Ⅰ		看護研究方法論Ⅱ 研究演習	

(*)編入生のみ履修する科目

(**)保健師教育課程選択者のみ履修

卒業時の取得資格

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格*

※保健師教育課程は「選択制」を導入しています。保健師の資格を希望する学生のうち、選考を受けて(20名以内)、所定の単位を取得した者だけが、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

保健師教育課程について

保健師の仕事は、個人だけでなく、集団や地域も対象として、そこにいる人々の「健康」を「保つ」ことができるよう、またより良い状態になるように働きかけていくことです。そのため、保健師教育課程では看護師教育課程の科目に加え、保健師必修科目を学ぶことが必要になります。本学の保健師教育は20名の選択制であり、3年生の前半に決定されます。

3年生になって最初に学ぶ専門科目は、「健康学習論」です。この科目では主に集団を対象とした健康教育の理論とプロセスを学び、実際に実施できる力を育成します。そのため、この授業では自分たちで健康教育を企画し、発表会形式で実施をします。発表会には本学の教育ボランティアさんも参加していただき、役に立ったのか、必要性がわかったのかなどのご意見をいただきます。地域の方々からの意見は、学生にとって貴重でリアルな学びにつながっており、とても役立っています。実習では、行政看護の現場である市保健センターと、産業看護の現場である事業場(会社など)において、実際の保健師活動について学びます。そして最後の「公衆衛生看護活動論Ⅱ」では、実習で学んできたことを振り返り、整理しながら、それらの活動の意味や必要性についてみんなで議論します。

これらの科目は主に3～4年生にかけて開講されますので、保健師教育課程を選択するのは大変だと思われかもしれませんが、学生たちは「保健師になりたい!」という強い意志のもと、20名が一丸となって頑張っています。



キャンパスカレンダー

「いちかん」でのキャンパスの1年間をご紹介します。



入学式

入学式で一人ずつ名前が呼ばれ、新生活の始まりを実感します。



ホームカミングデー

卒業生が母校に集う日です。久しぶりに同級生と再会し、笑顔あり、涙あり。



オープンキャンパス

本学への進学を考えている高校生やご家族を対象に、説明会・相談会、模擬授業や体験コーナーを実施しています。在学生によるキャンパスツアーで施設見学もできます。



新入生歓迎会

学生自治会主催で、新入生歓迎会が行われます。ゲームなどをして、新入生との親睦を深めます。



あざみ祭

あざみ祭実行委員会を中心に企画・運営しています。イベント・模擬店は学生だけでなく、地域の方々も入って地域のお野菜等も売られています。学生だけでなく、地域の方にも好評です。



オープンキャンパスで毎年人気の「市看生」による相談コーナーでは、在学生の「市看生」から受験勉強や学生生活のリアルなお話を聞くことができます。

10

▼ハロウィンパーティー
▼後期授業スタート

11

12

▼冬季休業
▼クリスマス会

1

2

▼2年生健康生活支援学実習
▼国家試験

3

▼海外看護学研修
(シアトル・ダナン)
▼卒業式

ハロウィンパーティー



学生自治会主催で行います。写真は、仮装した軽音部の演奏場面です。

クリスマス会



1年間の締めくくりは、楽しいパーティーで盛り上がりましょう。美味しいお菓子も一杯です。

卒業式



国家試験も終わり、大学生活の締めくくりです。友だちと過ごした大学生活を思い出し、「市看で学んでよかった」とそれぞれの道へと巣立っていきます。

看護と向きあえる環境

看護としっかり向きあえる環境があります！大学の授業はどのように進められるのでしょうか？

学内

講義室での授業

学内には、大教室、グループワークができる小教室、情報処理教室やコールシステムを導入したLL教室などがあります。

グループワークは、学生が4～8人ぐらいに分かれて主体的に課題に取り組む形で進められます。たとえば、患者さん（ペーパー・ペイシエント）を想定し、その患者さんに対する看護をグループごとに調べたり、ディ

スカッションしたりして学びを発表します。グループワークでは、仲間とのディスカッションを通じて、学びが深まります。



領域別演習

学内での演習は、教育棟北館の実習室で行われます。本学の演習室の設備は充実しており、専門分野ごとに専用の実習室が設けられています。各種のシミュレーターも備えられ、それぞれの分野ごとに必要とされる専門的な看護の技術を習得しやすいように整えられています。その環境の中で、工夫が凝らされた授業や演習が行われます。

たとえば、看護の技術演習では、患者さんの清拭（体を拭く）や洗髪をしたり、患者さんの血圧・脈拍・呼吸音の変化を観察したり、病院と同じように酸素吸入や痰の吸引を実践したりします。学生同士で、患者役・看護師役になって実践したり、シミュレーターを用いたりして、学生の実践力・思考力の向上が図れるように演習を進めています。

また、ふつうの家の一室のような畳敷きの和室を

使って在宅にいる患者さんの状況を設定して演習したり、本当の赤ちゃんのようなベビー人形を使いながら、出産や小児の看護まで一連の流れがモデル的に再現できるようになっています。



-----地域住民との交流を通じた演習-----

本学では、地域住民と共に創っていく新たな看護教育モデルとして、地域住民による教育ボランティアを導入した授業を展開しています。地域住民の方にあらかじめ教育ボランティアとして登録していただき、必要に応じて授業に協力していただくシステムを構築しています。

これは、学生が看護の対象者である地域で生活している様々な人々の生活や考え方について、学んだり、触れ合ったりすることにより、健康と生活の関係をリアルに理解し、看護師・保健師としてできる支援を具体的に考えるのに役立ちます。

たとえば、乳幼児をもつ母親である教育ボランティアさんから、子どもの生活の様子や健康への取り組みについてお話を聞いたり、高齢の教育ボランティアさんが生き抜かれた生活史を年表や写真で紹介しながら、その時の思いや気持ちを語っていただく講義を聞いたりしています。また、模擬的に患者役になっていただいた教育ボランティアさんと学生がやりとりしたり、学生のグループワークの発表について意見交換をしています。

教育ボランティアの導入により、学生の多様で実践的な学修が可能となり、教育活動全体の活性化につながっています。



公衆衛生看護活動論



老年健康生活支援論



看護学原論B



ヘルスプロモーション論

2019・2020年度の 教育ボランティアを導入した 授業の実績

■看護学部での導入授業

フィジカルアセスメント、ヘルスプロモーション論、看護学原論B、基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護技術演習Ⅲ、基礎看護学実習(総合演習)、老年健康生活支援論、慢性病看護学概論、在宅看護論、健康学習論、公衆衛生看護活動論Ⅱ、健康生活支援学実習、多職種連携Ⅰ(IPE研修)

■大学院での導入授業

助産診断技術学Ⅰ

学 外

-----ユニティ(大学共同利用施設)での講義-----

本学の周辺にはたくさんの大学があります。隣には流通科学大学があるのを始め、神戸市外国語大学、神戸芸術工科大学、兵庫県立大学神戸商科キャンパス、神戸市立工業高等専門学校との5大学1高専があります。これらの大学・高専と本学は、単位互換制度を共同で設けています。この制度によって、他大学、高専の単位互換を認められた科目の授業を受け、その単位を取得することができます。

本学の学生だけでなく、他大学の学生も多く受講しています。授業を介して、他大学の学生との交流がすすめられていますので、本学の学生にも好評です。さらに分野も専攻も異なる学生が一堂に会し

て同じ授業を共有する機会はなかなか楽しいものです。



ユニティの開講科目「女性と女性の健康」

-----地域住民との交流を通じた学外での学修-----

本学には、実習やボランティア活動を通して、地域住民との交流を図り、学修できるカリキュラムがあります。特徴的な科目をご紹介します。

「ボランティア活動」という科目は、1年生から4年生が対象になります。最初にオリエンテーションと講義を受け、その後は自分で自由に活動先や時間を決めて活動します。さまざまなボランティア活動を通じて、「他者を知る」「社会を知る」「自分を知る」ことができ、援助職としての自己の基盤作りができることをめざします。交流会や部活を通して先輩や教員から有益なアドバイスが受けられます。さあ、学外に広がっている社会や世界を体験し、自分の視野を広げましょう！

「健康生活支援学実習」という科目は、大学のある神戸市西区、須磨区の小地区をフィールドとして、各地区にいる民生委員・児童委員の会長や教育ボランティアさん、関係機関の方々、地域住民のみなさんの協力を得て行っています。この科目では、人と

関わる力を養ったり、人々の生活と生活の場である地域を理解して、その人にとっての「健康」とは何かを考えたり、人々が健康を維持・増進するための支援のあり方を考えます。学生のみなさんの積極性と自主性が発揮されます。



「健康生活支援学実習」の地域での活動



ボランティア活動



ボランティア活動

領域別実習

対象別の専門分野に必要な知識・技術を習得するための実習です。3年生から、領域別実習が始まります。

学外実習の期間は、延べ約6ヶ月。長いようですが、実際に体験してみると、無我夢中であつという間だったようにも思える期間です。

学外の実習は臨地実習とも呼ばれ、病院、保健センター、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、助産所など、いろいろな場所で行われます。その間はキャンパスを離れ、実習先へ向かう毎日になります。3人から8人の小さなグループに分かれ、現場の職員や教員の指導を受けながら実習をします。

実習施設では、担当する患者さんと触れ合い、看護計画を立て、それを実行に移します。患者さんにより良くなってもらおうと考えたことを、グループメンバーと話し合ったり、現場の看護師さんに相談したりして看護の実践をすることになります。初めての経験ばかりですから、戸惑うことや悩むことはたくさんあるでしょう。でも、この実習期間は、大学生活の中で、心に残る充実した日々となることでしょう。



- ウィメンズヘルス看護学実習
- 小児看護学実習
- 周手術期実習
- クリティカルケア学実習

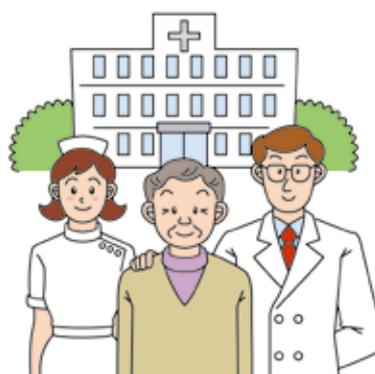
- 慢性病看護学実習
- 老年看護学実習
- 精神看護学実習

- 在宅看護学実習

実習施設の紹介

神戸市立医療センター中央市民病院、
 神戸市立医療センター西市民病院、
 神戸市立西神戸医療センター、
 神戸医療センター、三菱神戸病院、
 神戸リハビリテーション病院、
 介護老人保健施設 リハ・神戸、
 介護老人保健施設 みどりの丘、
 社会福祉法人きらくえん KOBE 須磨きらくえん、
 関西青少年サナトリウム、垂水病院、
 神戸大学医学部附属病院、保健センター、
 地域包括支援センター、訪問看護ステーション、
 兵庫県立こども病院、姫路赤十字病院、

井田助産院、小山助産院、マナ助産院、ママズケア
 助産所産屋、兵庫県看護協会、
 日本看護協会神戸研修センター 等



Pick up Curriculum

人体構造論

人の健康状態や疾患を理解するには、人体の正常な構造と機能を知る必要があります。人体構造論は、細胞やその環境という顕微鏡レベルから、骨や筋肉、内臓諸器官といった肉眼レベルに至るまで、体内の様々な構造を連続的にイメージして、それらが生きる上でどのような役割を果たしているかを理解することを目指しています。



薬理学 I

安全に薬物を使用し、患者の回復を助けていくには、薬物の体内での動態や作用メカニズムについてよく理解していることが重要です。薬理学 I では、まず、薬物が一般的に体内をめぐる、薬効を発揮し、代謝・排泄されていく過程と機序ならびに、薬物使用の際の注意点や副作用について理解します。続いて抗がん薬について学びますが、がんとはどのような物で、どのように生じ、それに対抗する体本来の仕組みはどのようなものであるか概観した上で、基本的な抗がん薬の種類や作用機序を学びます。新しいコンセプトに基づく抗がん薬やがん治療の展望についても紹介していきます。

フィジカルアセスメント

看護の技術には、ひとの体が正常に働いているか、回復に向かっているかという視点で、体温や脈拍、血圧などの測定をしたり呼吸時に発生する音を聴いたりする「からだを診る」技術があります。1年次に学習する人体構造論や人体機能論の知識をもとに、学生同士が互いに患者役・看護師役を経験しながら、また教育ボランティアさんに協力をいただきながら実践的な技術を学んでいきます。

voice

1年生の声



2020年度入学生

一年生は、看護の基礎となる部分を学ぶことが特徴で、講義中心です。その中で基礎的な看護技術を学ぶ演習授業もあります。また看護学以外の一般教養科目では看護師として備えておくべき教養や価値観を個性豊かで面白い先生と共に学ぶことができます。一年生は

個人の看護観を形成することに重きを置いています。看護学分野の教科はグループワークが多いため、同期の学生同士で看護に対する思いや、看護についての疑問などを共有でき、そこで個人の看護観を深めていくため、とても充実したグループワークをすることが出来ます。グループワークを通じて友達になったということも少なくないです。このように看護観を深めることができるのは一年生の授業特有のことだと思います。全体的にカリキュラムがしっかり整っているため、安心して勉強することが出来ますよ。

①神戸市看護大学を選んだ理由

- ・校舎の外観がお洒落で綺麗だったから
- ・単科大学で、看護のことをより専門的に学べると思ったから
- ・神戸は医療産業都市を推進していて、最新の研究・医療技術を生み出す体制が整っているため、看護を学ぶにはとても環境がいいと思ったから

②アルバイトの有無

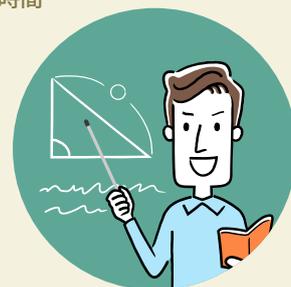
飲食、アパレル、塾講師

③通常時や休日の平均勉強時間

授業以外は0時間
課題があれば30分程度

④テスト前の勉強時間

3~10時間



※ voice で掲載している学年は寄稿いただいた当時のものです。

Pick up Curriculum

障害学

障害、障害をもつ者を社会、文化の視点から捉えなおし、従来の医療や社会福祉などの枠をあらたに問い直す試みです。「障害は悪しきものでも正されなければならないものでもない」と聞くと驚く人がいるかもしれませんが、そういう人にこそ学んでほしい科目です。はじめはおさまりの悪い思いがするかもしれませんが、ついには違った世界が見えてくるはずです。

老年健康生活支援論

人生における老年期は、身体的・心理的・社会的機能が様々な形で変化します。老年期とはどのような発達段階なのか、また、発達課題は何かについて学びます。そして、老年期における健康とQOLを維持し、高めるための看護援助の方法について学びます。授業には地域で健康生活を送っている高齢者の方に教育ボランティアとして参加していただきます。学生は多くのことを学びますし、教育ボランティアをしてくださる方にも若い学生の前で語ることの楽しさや意義を感じていただいています。



小児健康生活支援論

子どもが子どもらしく健康生活を維持・増進できるように、看護者としての支援を学びます。具体的には、小児看護の理念、子どもの権利、倫理的課題、成長・発達の原則、発達段階別の特徴と援助、子どもとのコミュニケーション、社会における子どもをめぐる課題などを学びます。

voice

2年生の声



2019年度入学生

2回生の授業は専門分野の授業が少しずつ始まってきます。授業量が多かったり、課題が多かったりと大変ですが、友達と一緒に勉強したり、先生方にアドバイスをいただきながらみんなで切磋琢磨と頑張っています。いちかんの魅力として、私は一緒に一生懸命頑張れる仲間が沢山いることだと思います。分からないことや困ったことがあればいつでも友達に相談できる環境があるからこそ、これまでの学校生活の大変な時もやってこれたのだと思います。いちかんに入学できて、互いの能力を高めあえる信頼できる仲間が沢山できたことが私にとっての1番の大きな財産です。

①神戸市看護大学を選んだ理由

家から近く、かつ色々な大学のオープンキャンパスに行きましたが1番先輩方の姿がかっこよく見え、自分もこの大学で4年間看護について学びたいと思い選びました。

②アルバイトの有無

販売業と飲食業の掛け持ちをしています。

③通常時や休日の平均勉強時間

疲れた日は勉強していません。時間があり、やる気が出た時に勉強しています。30分しかない時もあれば、長い時間勉強する日もあります。

④テスト前の勉強時間

平均5時間くらいです。



Pick up Curriculum

疫学

人間集団の中で出現する健康関連の種々の事象の頻度と分布およびそれらに影響を与える要因を明らかにして、健康関連の諸問題に対する有効な対策樹立に役立てるための科学である疫学について、基礎的、理論的知識を学びます。

クリティカルケア論

救急・集中治療における場の特徴、およびそれが患者・家族にもたらす影響をふまえて、代表的な看護の在り方を学びます。また、救急・集中治療の環境における倫理的側面について考えを深めます。

看護管理学 I

看護職者が生き生きとやりがいを持って働くことのできる環境とはどういうものか、そしてそれどのように実現していけばよいのかを考える授業です。組織、リーダーシップ、フォロワーシップといった経営管理の基礎概念を学ぶと同時に、労働条件や医療の安全確保の現状などのリアルな課題についても学びます。



在宅看護論

在宅で療養する人や家族の在宅看護について理解を深めます。よりよい生活を送れるように成人看護学や老人看護学など他の看護学や他の学問知識を統合しながら、療養者や家族にどうかかわっていけばよいかを講義や実習を通して学んでいきます。

voice

3年生の声



2018年度入学生

今年度は、前期は全てオンライン授業で後期は実習でした。前期の授業は看護の各分野について深めるような授業が多く、それぞれの分野における看護の特徴や違いなどについて学びます。また、後期からは実習が始まるので、事例の患者さんについて考える時も、2年生の時の授業より具体的なことをグループワークの中で考え、意見を出し合っています。

後期はすべて実習です。実際の看護実践の中で、自分自身を見つめ直し、時には悩みながらも、患者さんをより良くするための看護を考えます。実習期間中は記録などで忙しく、睡眠時間を確保するのが難しい時も正直ありますが、終わった後は「最後まで関わって良かった」と充実感を得られ、看護の魅力を感じることができました。

①神戸市看護大学を選んだ理由

高校の時の先輩から話を聞き、看護についてしっかりと学べる環境だと知ることができたのでいかに決めました。

②アルバイトの有無

アパレルともう一つ別のお店を掛け持ちしています。

③通常時や休日の平均勉強時間

普段の授業では、事前課題や事後課題が出るので、その分をやっています。なので、30分-1時間程度

④テスト前の勉強時間

1日3-4時間くらい



※ voice で掲載している学年は寄稿いただいた当時のものです。

Pick up Curriculum

災害看護論Ⅱ

災害時に特有な救護・救援に関する演習を通して、災害医療、災害看護について理解を深めます。災害看護論Ⅰで学んだ基本的知識と技術を応用し、災害急性期における活動に必要な知識、判断力、技術、行動力を習得します。

トリアージ*の演習では、災害事例に沿って、外傷や骨折などのシナリオに基づき模型を施し、身体状況から災害トリアージの判断力を養います。災害発災後の傷病者受け入れ初期対応については、災害現場でのトリアージ、治療/搬送エリアの決定や活動、情報伝達、医療機関の受け入れ準備を傷病者や病床数・増床数、職員数などを設定した中で限られた資源をどのように用いるか訓練上の時間経過に沿って行います。

*トリアージ：患者の重症度に基づいて、治療の優先度を決定して選別を行うこと。



教員やグループメンバーと共に自分の取り組むテーマに関して、文献検討を行い、プレゼンテーションをし、ディスカッションすることで研究計画を練っていきます。論文作成、研究発表の指導を受け、12月の卒論発表会で発表し、質疑応答を行います。

卒業論文を作成し、研究発表することを通して、研究テーマの中の問題解決や仮説を検証するために必要かつ適切な研究方法は何かを学び、将来の研究活動の基本を修得します。

研究演習

学生は、いずれかの分野に所属し、個人あるいはグループで卒業研究を行います。週1回程度のゼミ方式で演習を進めていきます。配属された研究室で

voice

4年生の声



2017年度入学生

4年生の授業では、病院での実習や研究演習が主になります。研究演習は少人数でおこなうため、興味のあるテーマについて先生方と近い距離で最新の知識について話し合い、丁寧に研究のプロセスを教えてくださいました。また、国家試験の勉強では、コロナ禍の中でも、オンライン上で行うなど工夫しながら友人と確認し、効率よく学ぶことができました。

「いちかん（神戸市看護大学）」では、1学年あたりの人数が少ない分、学年が一体となれます。4年間で共に乗り越えた仲間として全員が協力していく力を持っていることが「いちかん」の強みで、私の大好きな部分です。

①神戸市看護大学を選んだ理由

1学年あたりの人数が少なく、教員との距離が近いため、相談がしやすいアットホームな雰囲気だったことです。

②アルバイトの有無

接客業を4年間続けていました。

③通常時や休日の平均勉強時間

学校の授業の中で気になった部分や足りない部分を重点的に行います。日によって異なりますが1~2時間程度が多いです。

④テスト前の勉強時間

苦手分野を友人と確認していました。4~5時間程度でした。



クラブ・サークル紹介

いろいろな部活動・サークルで学生が活動しています。
気の合う仲間と楽しむ充実の時間です。



箏曲

みんなで楽しくお箏を弾いています。自治会主催のパーティーや地域の音楽祭などで演奏しています！



コーラルレイン

病院などの医療施設や地域のイベント、音楽会などに
出向き、歌声を届けています。歌のうまさは問わず、みんな
で楽しく歌っています。



KYAS

知的障害者と大学生と一緒に遊ぶイベントを月に1回
行っています！夏には海で遊んだり楽しい経験がたくさんで
きます。



INFINITY

兵庫県立大学のダンス部です。市看生も多数所属して
おり、初心者も大歓迎です。練習は自由参加で月、火、木、
金です。



K-spring peer (思春期ピアカウンセリング)

NPO法人ひょうごピアカウンセリング研究会との連携
事業で、性や生き方について、思春期前後の若者(兵庫県
内の中学生や高校生)と同世代の大学生が、ピア(仲間)と
して同じ視点で話し合い、コミュニケーションスキルを
主体的に獲得していく過程を支援する活動です。この活
動に本学学生、教員が主体的に参加しています。



茶道(裏千家)

月に1~2回、講師の方にお越しいただいてお稽古をし
ています。大学から茶道を始めた部員も多く、経験問わ
ずみんなで楽しくのんびりお茶を学んでいます。



ボランティア

毎回、地域の住民さんとお話やレクリエーションがとても楽しいです。学外でボランティアに参加することで、充実した楽しい経験ができます。



アロマセラピーサークル

私たちアロマセラピーサークルではアロマオイルを使った活動をしています。学園祭であるあざみ祭ではボランティアとしてハンドマッサージを行ったり、アロマを使ったものを販売しています。興味があれば是非足を運んでください。



軽音

自治会の行うイベントで演奏しています！練習日は特に決まっておらず、自由に練習しています！未経験者も多く楽しく活動しています。



まほうのハッピー

児童館で小学生の子ども達と大学生が一緒になって、体を動かしたり、工作をしたりと楽しく活動しています。



ミノネッツ

兵庫県立大学と神戸市看護大学の合同バレーボールサークル「ミノネッツ」です！毎週月曜日に活動しています！バレーボール経験者はもちろん、興味があるという人も是非一度見学に来てください！お待ちしております！



神戸市外国語大学・兵庫県立大学吹奏楽団

私たちは、神戸市外国語大学・兵庫県立大学吹奏楽団に所属して、年2回の演奏会や学祭での演奏などの活動を、学校や学年関係なく仲良く楽しく行っています！皆さんも、吹奏楽を通じて私たちと一緒に仲間と一つの音楽をつくり上げる喜びを感じてみませんか？私たちと一緒に演奏しましょう♪

その他の部活動・サークル

テニスサークル・アクアニックセラピー・劇団都市など

他にも他大学と合同で活動しているサークルなどがたくさんあります。

キャンパス紹介

学生生活の舞台となるキャンパスです。
ステンド・グラスや大理石モザイクに彩られ、四季折々のハーブの香りも漂う美しい学舎です。
看護大学のデザインの基調は、ナイチンゲールの生誕地イタリア・フィレンツェの街並みです。

①教育棟北館



最新のシミュレーター等を備えた模擬病室のある看護実習室、調理実習室、情報処理教室、さらにコールシステムを導入したLL教室などがあります。

②教育棟西館



階段教室や演習室があり、多くの講義がこの建物で行われます。吹き抜けの1階ホールでは、ソファーでゆったりとくつろげます。

③教育棟南館



解剖生理学・生化学・微生物学の各実験室と、小規模セミナーを行う演習室が配置されています。

学生用のロッカールームもあります。

④ハーブ園



ハーブ園の中のベンチで、ゆったりランチもできます。

⑤本部研究棟



正面玄関を入ると、吹き抜けとなった石畳のホールがあります。学生生活全般の支援を担当する大学事務局、教員の研究室、談話スペース、保健室、キャリア支援室があります。教員の研究室や大学事務局へのアプローチとなっています。

⑥ 図書館



約10万冊の蔵書が揃っています。看護関係専門書から医学書、一般図書、外国誌を含む雑誌を備え、学生の自主的な学習の場として活用されています。コンピューターによる文献検索やAVコーナーも利用できます。グループ学習などで利用できるラーニングcommonsというスペースを設けています。

⑦ 体育館



体育館は室内ジョギングコースやフィットネス器具を備え、ふんだんに木を取り入れた天井でおおわれています。

グラウンドは、春には花が咲き、自然豊かな環境で、お昼休みや夕方にジョギングする人もいます。

⑧ グラウンド



⑨ 学生会館



1階は吹き抜けのカフェテリア（食堂）やコラボカフェ（親子の交流の場）、2階には学生自治会室、本格的な茶室、クラブルームなどがあり、地域の人々も利用するくつろぎと交流の場となっています。

⑩ ホール



大学本来の教育施設として、入学式や卒業式の恒例行事のほか、大学主催の公開講座や研究発表会、学園祭などに利用します。また、公共・公益的事業のため、地域に開放された運営を行います。



地域連携

神戸市看護大学では、「地域住民と共に創り学ぶ」を合言葉に、創意あふれる活動を展開しています。

----- まちの保健室 -----

「まちの保健室」は学校にある保健室のように「いつでも、誰でもが気軽に立ち寄って心や体の相談ができる」というキャッチフレーズで、全国各地の看護協会が様々な機関と提携して行っている事業です。本学では、兵庫県看護協会と提携し「神戸市看護大学まちの保健室」を実施しています。

本学が「まちの保健室」として実施している事業は、一般の地域住民の方々を対象に、健康に関する講義や体験学習、健康チェックや健康相談などを行う「健康支援」、子育て中の保護者とその子どもを対象に、健康相談や子どもの発育測定、参加者間の

交流促進支援などを行う「子育て支援(すこやかクラブ)」、こころの悩みを抱えている方を対象にした「こころと身体の看護相談」、もの忘れや認知症で不安やお困りのことがある方を対象にした「もの忘れ看護相談」です。「健康支援」は、学内のみならず、地域の施設へ出向いて、本学教職員、学生が一丸となって取り組んでいます。

学生にとっては、「まちの保健室」の各事業に参加し、地域住民の方々とさまざまな関わり合いをもつ中で、コミュニケーション能力や健康生活支援に関する実践能力向上につながっています。



----- コラボカフェ -----

神戸市看護大学では、子育て親子が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合い相互に交流を図ることを、地域の方々とともに支援することを目的として「コラボカフェ」を開催しています。

コラボカフェは、学生と大学施設を利用した住民の参加を通して親と子が健康に育つための子育てを支援すること、および学生が生活を支援できる看護職として成長すること、またそれにより大学の発展に寄与することを目的としています。



プレパパ・プレママセミナー



プレパパ・プレママセミナーは、大学院助産実践コースの科目「助産診断技術学Ⅰ」の演習の一環として、2006年(平成18年)から行っています。当日は、地域の妊婦さんとそのパートナーの方々が参加され、分娩や子育てが楽しみにできるような集団健康教育を行っています。学部の学生さんたちの協力も得ています。現在は、西区・須磨区・垂水区と近隣の医療機関に広報の面で協力を得ています。

このセミナーの企画から実施・評価を通して、限られた時間の中で内容の精選、わかりやすい説明の仕方や媒体の工夫、対象が妊婦期の方であることの留意点なども考え、集団健康教育の実践的技術を習得しています。

公開講座(看護専門職公開講座・ユニティ公開講座)



看護専門職公開講座



ユニティ公開講座

毎年、「看護専門職公開講座」、「ユニティ公開講座」を開催しています。

「看護専門職公開講座」は看護専門職の皆さんを対象に、看護の現場ですぐに活用できるような実践的テーマで実施しています。「ユニティ公開講座」は一般市民を対象とするものです。学園都市の他大学と連携して、学園都市駅前のユニバープラザにあるユニティ(大学共同利用施設)内で、毎週土曜日午後開催しています。関心のある方はどなたでも受講できます。

主な地域連携活動

地域連携活動

- まちの保健室
- プレパパ・プレママセミナー
- 命の出前講座
- 看護専門職公開講座
- フレイル予防教室
- HAT神戸健康講座
- 命の感動体験
- 竹の台ふれあいまつり
- ユニティ講座
- コラボカフェ
- 大学連携セミナー・こうべ生涯学習カレッジ(コミスタ神戸)
- 西区ヘルスアップ作戦
- 思春期ピアカウンセリング
- トライやるウィーク

教育・研究活動

- 教育ボランティアを導入した授業の展開
- 学生ボランティア活動とその支援
- 教育ボランティア交流会

国際交流 International Exchange

地域社会に貢献し国際化に対応するための活動として、国際フォーラムや海外看護学研修等を実施しています。

-----学 術 協 定-----



ダナン大学との学术交流協定調印式の様子

本学では、「教育目標」の柱のひとつとして、「文化的背景を異にする人々とのコミュニケーション能力を培い、国際的視野に立って看護の課題に取り組む態度と行動力を育成する」と謳っています。

2012（平成 24）年度には、米国のワシントン大学、2016（平成 28）年度には、ベトナムのダナン大学と学術協定を締結しました。

ダナン大学との交流は、（公財）神戸国際協力交流センター、神戸市立医療センター西市民病院及び本学が主体となり、2012（平成 24）年度から 3 年間、ダナン産婦人科・小児科病院の看護師・助産師の知識・医療の向上を目的とした JICA 草の根技術協力事業で、専門家派遣と研修受入を行ったのを契機に始まりました。

-----米 国 ワ シ ン ト ン 大 学 と 本 学 と の オ ン ラ イ ン 講 演 会-----

コロナ禍における国際交流のあり方の一つの試みとして、学術協定を締結している米国ワシントン大学看護学部と本学とによるオンライン講演会を 2021 年 2 月に開催しました。テーマは「コロナ禍でのワシントン大学の臨床看護教育における大学・臨床協働」と題し、下記の 3 名の講師による講演ならびにディスカッションが行われました。

世界的に深刻な問題となっている新型コロナのパンデミックに際し、最新の状況を情報共有するとともに、ニューノーマルの看護教育の進め方に関して、活発に意見交換する貴重な機会となりました。



Hilaire J. Thompson先生



Yoriko Kozuki先生



Tatiana Sadak先生

-----海 外 看 護 学 研 修-----

神戸市看護大学では、2010（平成 22）年度から、毎年春休みを利用して、米国シアトル市において 2 週間、あるいはベトナム・ダナン大学においては 2016（平成 28）年度から 1 週間の海外看護学研修を行っています。研修は、既存の資料、現地での学修、現地の看護師との交流を通して、諸外国における保健医療制度、看護教育について学ぶことを目的としています。

アメリカおよびベトナムの保健医療制度の学修をとおして、日本の現状と課題について考えること、アメリカおよびベトナムの看護教育および看護システムについて学び、日本との違いとその背景の理解を深めることができます。

海外看護学研修（アメリカ・シアトル）に参加して 西田碧月さん（研修時4年生）

私が2週間の海外研修を通して感じたことは、「世界は私の想像より遥かに広い」ということでした。それは、研修中の授業や訪問した医療施設だけでなく、ダウンタウンやスーパーマーケットなどで売られている商品の一つ一つからでも実感することができました。日本にいたるだけでは実感できなかったアメリカならではの医療システムや保険制度、多民族国家ならではの文化や宗教の多様性に日々触れるたびに、私は自分の世界が広がっていく感覚を得て、知らないことを知ることはとても楽しいことだと改めて感じました。また、多角的な視野を持つことで自分がこれから何を目指し、何を勉強しなければならないのかという具体的なイメージを持つきっかけにもなりました。

海外研修に対して、「内容が難しそう」「英語が話せないとダメ」というイメージを持っている人もいるかもしれませんが、そのようなことはありません。たとえ内容が難しくても、英語が苦手でも、周りにいる先生や仲間がサポートしてくれます。自分の知らない世界に飛び込むには勇気が必要かもしれませんが、緊張や不安の先で得られた景色の全てが、今では私の宝物です。

みなさんも、自分で自分の世界を広げてみませんか？



海外看護学研修（ベトナム・ダナン）に参加して

島田悠祈さん・平林かな子さん（研修時3年生）

ダナンの研修で1番楽しかったことは、現地の幼稚園児を対象とした健康教育です。この健康教育はダナン大学の2年生と一緒に計画し実施しました。計画ではテーマを歯磨きの方法に決め、どのようにすれば幼稚園児が楽しく歯磨きの方法を身に付けられるかを考えました。見本を見せた後に小グループに分かれ、歯の模型を使って幼稚園児に歯磨きの手順を体験してもらう方法や、劇やダンスを取り入れた構成にしました。媒体づくりや、劇やダンスの練習のため、放課後や夜にみんなで集まり準備をしました。ダナンの学生とのコミュニケーションは片言の英語や、ジェスチャーで時には苦労することもありましたが、お互いに伝えよう、理解しようとする気持ちで通じ合うことができました。健康教育をともに行ったことで、お互いのことや看護に対する思いを知ることができ、仲が深まり、ダナンで過ごす最後の夜には皆で食事やカラオケにも行きました。

ほかにもホームステイでベトナムの文化や人のやさしさに触れたり、病院見学で日本との様々な違いに驚いたり朝起きてから夜寝るまでに体験することすべてが新鮮な9日間でした。ベトナムで現地の医療や、

看護教育を体験したことは、日本の医療や、日本の看護学生の立ち位置を改めて考えるきっかけとなりました。今回の研修での学びをこれからの講義や実習などに生かしていきたいです。



学生支援

学生の日常的な悩みなど気軽に相談できる体制を整えており、安心して学生生活を過ごせるように支援しています。

健康管理

年1回の定期健康診断を行っています。
保健室では個別の健康相談を行っています。また、併設する心理相談室では、専門の臨床心理士が、個人的な問題や悩みの相談に乗り、解決へのサポートを行っています。

クラス担任制

学修環境に適応し、スムーズな修学ができるよう、クラス担任制を設けています。1クラス約20名で、各クラスには1名の教員が担任として、皆さんの身近な相談役となります。

履修や修学上のことに限らず、学生生活全般についての相談を受けます。

安全対策

授業、課外活動、通学中の事故や賠償責任に対応できる保険制度を紹介し、入学時に加入していただきます。

ハラスメント対策

本学では、ハラスメントの防止に努め、安全で快適な教育・研究環境を維持することを目指しています。ハラスメント防止委員の相談員が相談を受けます。

キャリア支援

キャリア支援室では医療機関等の求人情報の閲覧や経験豊かな担当者による相談など学生の進路・就職全般をサポートしています。また、卒業生に対しても継続してキャリア支援を行っています。

購買部・カフェテリア(食堂)

学内に生協店舗を設置しています。運営は神戸市外国語大学消費生活協同組合看護大店(大学生協)が行っています。



奨学金

2020年4月より、「高等教育の修学支援新制度」(以下「新制度」という。)が実施され、学部学生等のうち住民税非課税世帯等を対象に給付型奨学金と授業料減免の2つの支援が行われることとなりました。

A. 日本学生支援機構奨学金

基準(学力・家計・人物)を満たす優れた学生であって、経済的に修学が難しいと認められる学生に対して、修学の援助を行う制度です。本学で選考の上、日本学生支援機構に推薦しています。

(種類と金額)

日本学生支援機構ホームページよりご確認ください。

■給付奨学金・・・・・・・・・・・・・・・・



・・・・・・・・●第一種奨学金(無利子貸与)

■第二種奨学金(有利子貸与)・・・・・・・・



・・・・・・・・●入学時特別増額貸与奨学金
(有利子貸与)

B. 神戸市看護学生修学資金

神戸市民病院機構が行っている修学資金貸与制度で、卒業後に神戸市民病院機構に勤務する意思がある最終学年に在学する学生が対象です。卒業後、ただちに神戸市民病院機構に就職し、一定期間継続して勤務したときは返還が免除されます。

貸与金額は、600,000円です。

C. その他の奨学金等

本学で扱っているその他の主な奨学金制度等は、次のとおりです。

名称	月額	備考
三木瀧蔵奨学財団	30,000円	・1年生が対象で、学業、人物、健康等を総合審査のうえ、適格者を推薦します。 ・奨学金の返還義務はありません。
地方公共団体の奨学金	—	・当該地方公共団体の出身者を対象としています。 ・希望者は、出身地の都道府県、市町村の教育委員会事務局等に問い合わせてください。
国の教育ローン (日本政策金融公庫)	—	・入学時や在学中に必要な資金を融資する公的な制度です。 「教育ローンコールセンター」もしくは、最寄りの金融機関(銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協)に問い合わせてください。

このほか、病院等が実施する奨学金制度があります。制度の内容を十分検討してください。

授業料減免

A. 高等教育の修学支援新制度

高等教育の修学支援新制度は以下の2つの支援からなります。

- ・給付奨学金(原則返還が不要な奨学金)
- ・授業料等の減免
(授業料と入学金(新入生のみ)の免除または減額)

原則、日本学生支援機構の給付奨学金に申請し、採用されることが必要です。採用された給付奨学金の支援区分により、授業料等の減免額が決定されます。支援区分は、世帯収入に応じて3区分あります。

(参考：文部科学省ホームページ)……………



家計基準については、日本学生支援機構のサイトにて、支援区分の確認ができるシュミレーションのツールが利用できます。

B. 本学独自の減免制度

本学では新制度による授業料等減免と合わせて、大学独自の授業料減免を実施しています。

○申請資格

本学の学生で次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 経済的理由により、授業料納付が困難であり、かつ学業成績が優秀と認められる者
- (2) 所得基準および家計基準を満たしている者

大学独自の授業料等減免の制度は、基準等が変更になる可能性がありますので、詳細は、教務学生課へお問い合わせください。

後援会

大学の教育環境の整備や学生生活支援のために保護者による後援会が組織されています。

定期的に機関誌「あざみ」が発行され、その活動状況の報告があり、大学と保護者との間の情報交換の場ともなっています。なお、入学時に納付していただく後援会費は、以下のような活動に活用されています。

1. 後援会紙「あざみ」の発行
2. 役員会、後援会総会の開催
3. 卒業生と保護者と大学教職員との交流会開催
4. 学生自治会、新入生歓迎会、クラブ活動、ボランティア活動、学園祭への必要経費補助
5. 大学設備等(設備・図書)充実費補助
6. 学生教育研究災害傷害保険・総合補償制度「will」保険料の全額補助
7. 卒業アルバム代金の全額補助
8. 卒業記念パーティへの参加費補助
9. 卒業生への記念品贈呈

後援会費は、60,000円です。(編入学生は、40,000円)

※入学時に一括納付

同窓会

神戸市看護大学同窓会は、卒業生を中心に、大学教員を特別会員、在学中の学生を準会員として、会員相互の親睦を図り、神戸市看護大学の繁栄に寄与することを目的に活動しています。

年に一度会報を発行し、会員相互のネットワークを支援するための活動を行っています。

卒業生からのメッセージ

大学を卒業してから、あなたはどのような仕事をして、何を思っているのでしょうか。
すでに看護の現場で働いている先輩の声を聞いてみませんか。

※各メッセージ中にある職場等は卒業生から寄稿いただいた当時のものです。

松井 洋幸 さん

看護師

(2006年度 卒業)

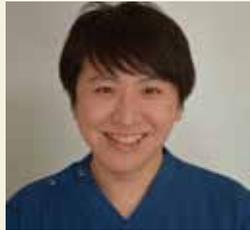
神戸市立医療センター中央市民病院

私は神戸市立医療センター中央市民病院の4階西心臓センター・CHCUで勤務しています。名前の通り、心臓疾患患者さんの看護を主に行っています。

実際に看護師として働いていく中で、『常に学習する』という事を意識するのが大切だと思って働いています。学習の基礎となる大学での講義は、今資料を読み返しても勉強になるようなものばかりでした。看護師として実際に働くと、知識を実践に結びつけるのがとても難しいと感じます。大学生時代に知識の基礎を築いておくのは、看護師となって看護実践を行っていく上で、とても大事な事だと思います。

実習は大変だった事を覚えています。神戸市看護大学の看護実習生が私の病棟に実習に来る度に、自分が実習していた時の事を思い出します。看護実習生は、私たちと一緒にカンファレンスに参加します。その中で、看護実習生が担当する患者さんの看護計画を発表するのですが、よく調べられて、考えられている計画が多く、「この学生さんすごいね」と話題になる事もしばしばです。

信頼できる先生や仲間と囲まれながら、神戸市看護大学で学んでみてはいかがでしょうか。



山名 春佳 さん

保健師

(2015年度 卒業)

鳥取市中央保健センター

私は今、「地域に暮らす方々の暮らしのいのちを守りたい」という思いのもと、保健師として働いています。

赤ちゃんから高齢者まで、人の一生に関われることが保健師の魅力であると思います。そして、住民の方のいきいきとした暮らしを支えるために、住民の方と共に悩み、共に考え、そして共に喜ぶことができることにやりがいを感じています。

私は、保健師になった今も保健師を目指す仲間と切磋琢磨しながら必死に駆け抜けた日々を思い出します。そして、そんな私たちを支えて下さったのは神戸市看護大学の先生方です。授業や実習はもちろん、先生方との関わりを通して、保健師として必要な知識や技術、心構えを教えていただき、今の活動に活かすことができています。

神戸市看護大学は自分の学びたい看護を深く学べるカリキュラムになっており、学びたいという思いに真剣に向き合い支えてくださる先生方がおられます。そんな素晴らしい環境で、みなさんも看護を学んでみてはどうでしょうか。



長野 宏美 さん

看護師

(2015年度 卒業)

大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

神戸市看護大学を卒業してから2年が経ちました。1年目は技術・精神面・看護観等々様々なことをいろんな先輩や患者様から学ぶことができ、今振り返ってもこの1年間で大きく成長でき、大切なことを学ばせていただけたと思います。

そして、なにより痛感するのが、神戸市看護大学で学んだ物事の根拠を考える姿勢や思考、患者様へ寄り添う姿勢、ただ技術の習得だけではなく先で起こりうることを予測して技術を習得するという姿勢がとても役に立っています。学生時代は課題や記録が多く乗り越えるのが大変だったことが何度もありましたが、今となれば身につけていることなので様々なことを吸収できる自分になることができていると実感します。

実習グループやグループワークがあるので、学年レベルで仲良くなれるのもこの大学の特色だと思います。自分の居場所がたくさんできると思います。

小さな大学ですが、愛と鞭のある(笑)指導をして下さる教員と共に乗り越える仲間がいる最高の環境です!



平岩 汀 さん

看護師

(2015年度 卒業)

訪問看護・介護ステーションすずらん

私は島根県出身で、もともと地元や地域が大好きだったので、在学中も在宅分野の総合実習や研究演習を選択し学びました。卒業後、地元に戻り急性期病院に就職しましたが、一人一人が好きな場所や関係性の中で、好きな生活を送りながら生きることを支援する在宅看護の魅力が頭から離れず、半年後に訪問看護師として再出発しました。

在学中を通して身につけた、基本的な看護技術や全体的なアセスメント力、何より人と向き合い理解しようとする姿勢は今とても役立っています。病院とは違い医療者がマイノリティな地域領域では、医療的なノウハウはもちろん、例えばお家に入らせていただき続けるための礼儀や、他機関多職種と協働をしていくための関係力等人間性もとても問われます。大学で得た基盤の上に、医療分野に限らない多様な知識や能力を重ねていければなと思っています。

卒後も在宅分野の先生や仲良くしてくれた友人とは、距離がある中でも定期的に会い近況報告をしています。看護師を続けていく上での基盤や仲間を築くことのできる大学だと思います。皆さんがんばってくださいね。



村上千紘さん

看護師

(2015年度 卒業)

神戸市立医療センター中央市民病院

私は、神戸市立医療センター中央市民病院の6階東病棟（消化器外科・消化器内科・内分泌内科・腫瘍内科のがんコア病棟）で働いています。私の働いている病棟には手術や内視鏡治療を受ける患者さん、ターミナル期の患者さんが入院されています。「がん患者」と言っても治癒して退院されていく方や突然告知をされて受け止めきれない方など、心身の状態は一人ひとり違います。忙しい毎日ですが、私は大学で学んだ傾聴する姿勢を大事にすることを心掛けており、特に精神面への関わりが必要な患者さんに対しては仕事終わりに時間をつくりゆっくり話を聞くようにしています。大学生活のうち特に実習期間はしんどい思いをするかもしれませんが、患者さん一人ひとりとゆっくり関わることができる機会でもあるのでみなさんには充実した実習生活を送ってほしいと思います。神戸市看護大学に入学された方は実習の時にお会いできることを楽しみにしています。頑張ってください！



北野美咲さん

看護師

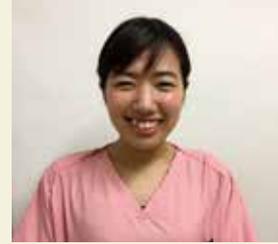
(2016年度 卒業)

神戸市立医療センター西市民病院

私は現在、神戸市立医療センター西市民病院の呼吸器内科・循環器内科病棟で1年目の看護師として働いています。病棟では主に肺癌や慢性呼吸器疾患をはじめとする様々な疾患の患者さんを看護しています。今は業務に慣れるのが精一杯で、まだまだ未熟な私ですが、大学で学んだことを活かして勉強の日々を送っています。

神戸市看護大学では一生の仲間とも呼べるような同級生と出会うことが出来ました。演習やグループワーク、実習などを乗り越えるたびに、より一層同級生との絆が深くなっていきました。また先生方は経験豊富で何でも相談に応じてくださいます。私はこの大学に入学してたくさんのかげがえのない人達と出会えたことで、より多くの視点をもって物事を捉えられるように成長したと感じています。

大学生活は楽しいことばかりではなく、辛いこともたくさんあると思いますが、自分にとって学び続けられる環境であれば、きっと乗り越えられます。皆さんには後悔のない大学選びをしてほしいです。夢に向かって頑張る皆さんを応援しています。



和田唯さん

看護師

(2014年度 学部卒業、2016年度 大学院修了)

神戸大学医学部附属病院

看護専門学校を卒業後3年間急性期病院で働き、大学編入をしました。病院に限らず働く場を広げられるのではないかと考え、保健師の資格を取得しようと思ったことがきっかけでした。

大学編入では保健師免許取得のためのカリキュラムだけでなく、たくさんのお話を聴き、様々な学びを得ることが出来ました。そして、看護学分野の授業では改めて看護に向き合う機会となりました。一緒に学ぶ仲間や先生方との出会い、深くがん看護を学んでみたいと思うようになり、大学院への進学を決意しました。大学とは異なる大学院での授業や実習、また自らテーマを決めて臨んだ研究は辛いこともありましたが、修了してまた看護師として新しいスタートラインに立てたと思います。

今は、患者様とご家族に寄り添えるがん看護専門看護師を目指しています。大学に編入しなければ、今の目標に出会うことは出来ませんでした。大学編入、大学院で出会い、成長させてくださったすべての皆様に感謝しています。



田村麻耶さん

助産師

(2015年度 専攻科修了)

神戸市立医療センター中央市民病院

私は神戸市立医療センター中央市民病院で3年目の助産師として働いています。中央市民病院では正常な妊娠経過をたどる方や、身体的・社会的ハイリスクの方や、他院から搬送される緊急性の高い方など様々な妊産婦さんを見させて頂いています。

市看の助産専攻科で学んだ1年は本当に密度が濃い1年でした。助産師として生涯働いていく上での大切なエッセンスを学ぶことができたと感じています。決して楽しいだけの1年ではありませんでしたが、意見をぶつけあい仲良くなった同期、厳しさの中に優しさをもった先生方、そして実習で受け持ちをさせていただいた素敵な妊産婦さん、赤ちゃんたちに出会えたかけがえのない1年だったと思います。

みなさんの将来を考える上で、是非、前向きな選択肢の一つにしていただければと思います。



※ 2016年4月から、助産師教育は、大学院博士前期課程 ウィメンズヘルス看護・助産学専攻 助産学実践コースへ移行しています。

卒業生の進路状況

2021年3月、第22期卒業生は98名で、そのうち95名が就職し、3名が進学等しました。

おもな就職先

■病院

神戸市立医療センター中央市民病院・西市民病院・西神戸医療センター
 神戸大学医学部附属病院
 三菱神戸病院
 神戸百年記念病院
 神戸リハビリテーション病院
 神戸徳洲会病院
 兵庫医科大学付属病院
 兵庫県立尼崎総合医療センター
 兵庫県立西宮病院
 兵庫県立明石がんセンター
 兵庫県立姫路循環器病センター

加古川市立中央市民病院
 西宮市立中央病院
 笹生病院
 関西ろうさい病院
 明和病院
 大阪医科大学附属病院
 近畿大学医学部附属病院
 大阪市立大学医学部附属病院
 大阪大学医学部附属病院
 北野病院
 大阪医療センター
 八尾徳洲会総合病院
 淀川キリスト教病院

浅香山病院
 住友病院
 吹田市民病院
 西淀病院
 京都府立医科大学附属病院
 奈良県総合医療センター
 天竜病院
 国立がん研究センター中央病院
 国立がん研究センター東病院

■保健所等

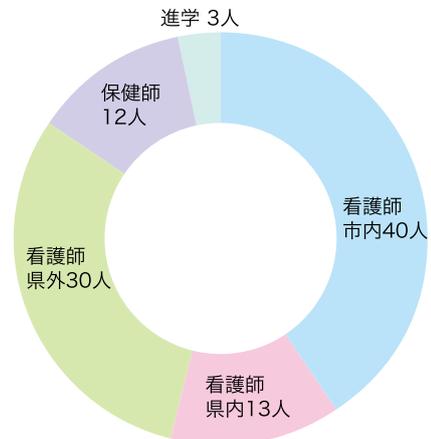
神戸市
 明石市
 姫路市
 西宮市
 たつの市
 大阪市
 呉市
 東京都
 徳島県松茂町
 東海旅客鉄道株式会社
 健康管理センター
 スマイルキッズ(保育所)

進学先 (過去実績を含む)

■助産師養成課程

神戸市看護大学大学院助産学実践コース
 金沢大学看護教諭養成コース
 兵庫県立大学大学院(減災復興政策研究科博士前期課程)

大阪大学大学院(生命育成看護学講座)
 名古屋市立大学大学院助産学領域上級実践コース



国家試験合格状況

	看護師	保健師	助産師
2016年度	98.7% (94.3%)	100% (94.5%)	大学院へ移行のため、修了生なし。
2017年度	99.0% (96.3%)	90.0% (85.6%)	大学院 100% (99.4%)
2018年度	98.9% (94.7%)	95.0% (88.1%)	100% (99.9%)
2019年度	98.9% (94.7%)	100% (96.3%)	100% (99.5%)
2020年度	98.9% (95.4%)	100% (97.4%)	100% (99.7%)

(括弧内の数字は新卒者全国平均)

入試情報

2022年度の各入学試験の 募集人員・入学試験日程

2022年度 一般選抜の概要		
区分	前期日程	後期日程
募集人員	55名	15名
出願期間	2022年1月24日(月)～2月4日(金)	
個別学力検査等の 日程及び内容	2022年 2月25日(金) *小論文、面接	2022年 3月12日(土) *小論文、面接
合格発表	2022年 3月4日(金)	2022年 3月22日(火)

※ 前期日程、後期日程共、小論文は日本語資料によります。

2022年度 学校推薦型選抜の概要	
募集人員	25名(うち、*1市内優先枠7名)
出願期間	2021年11月1日(月)～11月8日(月)
試験日及び内容	2021年11月20日(土)*2小論文、面接
合格発表	2021年12月3日(金)

※1 市内優先枠は、本人及びその扶養者が2021年4月1日以前から神戸市内に住所を有している者が対象です。

※2 英文資料の読解を含みます。

2022年度 編入学試験の概要	
募集人員	10名(うち、市内優先枠2名以内)
出願期間	2021年8月2日(月)～8月6日(金)
試験日	2021年8月24日(火)：筆記試験(小論文*)、面接 *小論文は看護の専門的知識を問う内容及び英文を含む
合格発表	2021年9月3日(金)

※ 2024年度(2023年度実施)以降の募集を停止します。

募集要項

本学ホームページより
ご確認下さい。



2021年度 入学試験結果

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率
編入学試験	10	22	13	11	2
学校推薦型 選抜	25	104	104	25	4.2
一般選抜 【前期日程】	55	106	102	55	1.9
一般選抜 【後期日程】	15	167	52	15	11.1

学費(入学金・授業料等)

区分	金額	
入 学 金	神戸市内者	282,000円
	神戸市外者	423,000円
授 業 料	前期	267,900円
	後期	267,900円
	年間	535,800円
合 計	817,800円	958,800円






 公立大学法人
神戸市看護大学

〒651-2103 神戸市西区学園西町3丁目4番地
 TEL. (078) 794-8085 (教務学生課) FAX. (078) 794-8086
 URL : <https://www.kobe-ccn.ac.jp>



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。